

よしこさん・のぶこさんの活動日誌



早いもので、平成23年7月20日に町議会からの選任で女性農業委員になり3年が経とうとしています。3年前は何をしていたのかわからない日々でした。毎月の定期総会、定期的に行われる農業委員の研修会、女性農業委員研修会などがあり、研修を積み重ねていくうちに少しずつ理解できるように成りました。途中から現地調査も加わり、総会では調査の報告をしました。

現在、栃木県内の女性農業委員の数は77名で、選挙で6期1名、4期2名、議会推薦で4期1名、3期2

名です。これまでの女性農業委員としての活動の中から、記憶に残っている研修会などを紹介したいと思います。

平成23年8月29日、パートナーシップで築く農業経営研修会（農業・農村男女共同参画推進研修会）が那須塩原市いきいきふれあいセンターでありました。パネラーとして那須町農業委員の今耕一さんが参加されていました。男女が家庭や地域でお互いを個として認め合い尊重し合つて、あらゆる場面で協力し能力を発揮できるように意識と行動の変革を図ろうということでした。

平成24年2月24日、農村女性トップリーダー懇談会が宇都宮パルティ大ホールでありました。「女性パワーで 新しい農業・農村を創る！」現代結婚事情からパートナーシップを考える」と題して、全国結婚支援センター代表の板本洋子氏の講演がありました。女性が生きやすい農村、結婚への通等のお話がありました。また、「パートナーシップで築く豊かで活力ある農業・農村をめざして」をテーマに5名の方から事例発表がありました。その中で、(株)升智代表取締役の布施智子氏は、「和風ジェラートを栃木から全国そして世界へ」として、農林水産大臣政務事務次官賞を受賞したことを発表されました。器は益子焼の陶器を利用しているとのことでした。また、自分の商品に自信を持っていました。

平成25年10月4日は「今こそ見せよう！女性農業委員の底力」をテ

マに、関東ブロック女性農業委員研修会がさいたま副都心合同庁舎2号館で開催されました。栃木県・茨城県・群馬県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・埼玉県それぞれから約150名が参加しました。茨城県牛久市農業委員会から「笑顔で取り組む食農教育」、宇都宮市農業委員会から「女性農業委員の活動」、神奈川県厚木市農業委員会から「わたしの歩んできた道」として活動発表がありました。

これからは、競争ではなく違った能力を持った人と力を合わせ、協力し合うことで学びあい、自分の考え方を成長させていくこと、お互いの相乗効果で新しいものを作り出していくこと、共に力を合わせることを愛と対話とパートナーシップがキーワードです。過去の経験や前例のみにとらわれることなくしっかりと先を見据え新たな発想で農業委員会を盛り上げていってください。



「たがやす」第56号発行に当たり原稿をお願いした方々には御協力をいただきありがとうございます。

昨年の異常気象により農業用施設や農作物の被害に遭い、また、今年になって2月の大雪により農業用施設が被害に遭い、農作業に影響が出ると思いましたが施設の復旧作業が早く、稲作には支障なく作付けが出来ました。

国は農地中間管理機構を開始されました。地域の農地利用の再編に向けた起爆剤として期待されているところですが、

農業委員・農業委員会は、農地法許可申請の審議や農地の利用状況調査、農地利用集積の促進、農業者年金の普及、各種情報提供、建議・要望等、これまでの業務のほか、農地中間管理事業に関する業務を加え活動していくこととなります。

編集後記

編集委員 星 和一

編集委員長 平山 貞幸
 編集委員 和知 伸子
 大島 芳子
 大森 栄一
 柴田 久夫
 星 和一

星和一前委員は、平成26年4月30日をもって、農業委員を退任されました。農業委員会活動にご尽力いただき、誠にありがとうございました。